

平成28年度第1回酒々井町総合教育会議 議事録

開催日 平成28年7月8日(金)

開催場所 役場中央庁舎3階会議室

出席者	町長	小坂 泰久	教育長	木村 俊幸
	教育長職務代理者	浦壁 京子	教育委員	林 洋子
	教育委員	石井 國治	教育委員	村重 浩二
事務局	教育次長	木内 達彦	総務課長	大塚 正徳
	政策秘書室長	伊藤 裕之	こども課長	七夕 夕美子
	こども課副主幹	伊藤 雄三	こども課主事(書記)	渡邊 しほ

1 開会時刻 15:00

2 町長挨拶

3 議題

(1) 後期基本計画について

(2) 地方創生推進会議について

(3) 国際交流について

4 その他

5 閉会

6 閉会時刻 17:00

議事録

1 開会の言葉

七夕こども課長

ただ今より、平成28年度第1回酒々井町総合教育会議を開会いたします。

2 町長挨拶

小坂町長

皆さんこんにちは。町長の小坂でございます。教育委員の皆さんには日頃より大変お世話になっております。本日、平成28年度第1回酒々井町総合教育会議を開催することができました。ありがとうございます。

本日の会議につきましては、議題でございますように、町の重要な施策でございます総合計画の後期基本計画等について、ご説明をさせていただきます。

また、町では、地方創生推進会議というものを始めさせていただいておりますので、これにつきましても、ご説明をさせていただきます。そして、3点目といたしまして、国際交流につきましても、委員の皆さんにご提案をさせていただく、このような考えでおります。教育委員の皆さんのご意見等をいただいていく中で、この会議が実りあるものとなりますようご期待申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

3 議題

七夕こども課長

続きまして、議題でございますが、酒々井町総合教育会議運営要綱第3条第2項により、議長は町長が務めることとなっておりますので、今後の議事進行は町長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

小坂町長

それでは議題（1）後期基本計画についてご説明させていただきます。

（町長 説明）

小坂町長

ご説明をさせていただきました。ご意見等があればお伺いいたします。

木村教育長

教育委員会では、後期計画と教育振興基本計画を並行して作成します。重複する部分が当然出てくることとなりますが、スケジュールはどう調整する予定ですか。

伊藤こども課副主幹

教育振興基本計画は、後期基本計画との整合性を図りながら、まず各担当課等においてそれぞれ作成します。その後、最終調整や製本作業をこども課で行う予定であります。

木村教育長

教育振興計画を作成する中で、予算は計上していましたか。

小坂町長

事務局、いかがですか。

伊藤こども課副主幹

教育振興基本計画の製本等に関する予算は持ってございません。今後、作業を進める中で予算の必要が生じた場合は、財政と協議、調整をさせていただきます。

木村教育長

早期に教育振興基本計画の作成に取り組みたいと思っておりますが、後期計画との整合性もあり、スケジュール調整はなかなか難しい状態です。

小坂町長

後期計画は、委託業者が決まりました。現在、議員の意見聴取をしています。これと同時に資料収集等を行っています。計画を作成する段階で、教育委員会としても早く概要を確認したいと思われまますので、できるだけ早期に概要等を示していきたいと考えております。

木村教育長

今後、町の人口が減少する中で、教育で貢献できることとしては、教育環境を整えることだと思います。その上で、酒々井町の教育環境の良さをアピールしていくことが大切です。ある程度の予算化等も必要になってまいりますので、よろしくお願いしたいと考えています。

小坂町長

酒々井町の教育は内容で優位性をアピールしていきたいと考えています。内容につきましては、引き続き、教育委員会でよろしくお願い致します。予算の確保は、最大限努力するので、1の予算が3倍にも4倍にもなるように、効果的に教育施策が進むことを期待しております。

林委員

酒々井町の総合戦略を読みましたが、教育分野では、幼児教育をメインにしていると読み取れます。こうした内容に学校教育や社会教育の内容が加わると、さらにインパクトがあり、一貫性が感じられると思います。

小坂町長

酒々井町は、施策の中で幼児教育の部分で今後さらに力を注げると考えています。後期計画の中で、こうした部分をどのように取り入れていけるか検討しています。

浦壁教育長職務代理者

学校訪問の際に感じるのは、今後、機動力のあるタブレット端末による授業展開に期待が持てるということです。どこかで実現できたらありがたいと考えています。

小坂町長

私もタブレットは有効と考えています。導入にあたっては、授業展開の検討、使い方の研究も必要になってきます。小中3校を効果的に、そして体系的に進めていくために、さらに検討していただきたいと考えております。

石井委員

人口の話に戻りますが、私の住んでいる上岩橋は人口が増えています。酒々井町の人口が減少している理由はどこにありますか。人口減少対策として、宅地造成という考えがありますが、いかがお考えでしょうか。

小坂町長

酒々井インター周辺の開発を進められるように地区計画を定めました。また、未利用地の開発についても検討しています。

村重委員

私の住むネオポリスは、利用地がまだ半分ほど残っています。今後は、既存家屋の空き家対策も重要です。また、教育面での子育て対策で重要になるのは、英語教育の強化ではないでしょうか。英語を身に付けて空港に人材を送り込んでいくことにより、人口の定着を図るという方法もあると思います。

小坂町長

未利用地等の利用が進んだものとして、人口17,000人を目標としています。この数字を達成するのは、相当な努力が必要となりますので、皆さんと達成に向けて知恵を出し合いたいと考えています。なお、英語教育の重要性についても、保育園における英語との触れ合いを実施するなどの施策を進めており、十分に重要性を理解しております。

他になれば、以上で議題（1）を終わります。次に、議題（2）の地方創生推進会議について、政策秘書室長から説明をお願いします。

伊藤政策秘書室長

（政策秘書室長 説明）

小坂町長

政策秘書室長よりご説明をさせていただきました。ご意見等があれば、お伺いします。

石井委員

有意義な会議になることを期待しています。委員の中に教育関係者はいますか。

伊藤政策秘書室長

教育委員会の元委員長さんがいらっしゃいます。

小坂町長

他になれば、以上で議題（2）を終わります。次に、議題（3）の国際交流について、私からご説明いたします。

（町長 説明）

小坂町長

ご説明は以上です。ドイツのドルフエン市との国際理解交流について、皆さんのご意見をお伺いします。私としては、あくまでも生徒たち中心の交流を考えています。

村重委員

平成27年度に台湾の学生のホームステイを町民の皆さんの協力のもと、受け入れられました。今後、現在交流のあるオーストラリアやドイツを受け入れることになっていくのですか。

小坂町長

相互交流ということに関しては、震災の影響を考慮して、日本に来ることを躊躇している外国の方はいるようです。また、町が予算を使ってホームステイを受け入れることは、現在は想定していません。東京オリンピック・パラリンピックを契機

に日本の魅力が世界に発信され、そのことにより訪日を望む機運が高まるのではないかと考えています。

木村教育長

成田市や四街道市は姉妹都市からのホームステイを受け入れています。海外は、日本に来る生徒やその家族に補助金を出すことはないので、実現が難しくなっている面はあると考えられます。

小坂町長

議題に掲げた事項は以上ですが、委員の皆さんからその他があればお伺いします。

村重委員

施設の整備に関しまして、私は町民体育館を急いで建設することよりも、酒々井中学校の整備が先だと考えています。まずは、酒々井中学校の体育館を修理して、その後、余裕があれば町体育館の検討をしていただきたいと思います。

小坂町長

中学校体育館の屋根につきましては、すでに設計も済んでいますので、財源の目途がつき次第、実施したいと考えております。

他にご意見等がなければ、以上をもちまして平成28年度第1回酒々井町総合教育会議を閉会といたします。

お疲れ様でございました。